

■ 設計・施工時の注意

- 本製品は、「**接着・両面テープ併用**」施工となります。**接着剤、両面テープは必ず指定品をご使用ください。**
- 本製品は、新築・リフォームのどちらの場合にも使用できます。新築の場合は、開口枠の四方とも必ず耐水合板を貼り付けてください。
- 本体とサッシ枠、壁面及び入隅カバーとの取り合い部は、必ずシーリング処理を行ってください。漏水の原因となります。
- 既存窓枠の見付寸法（前垂れ部）が36mmより大きい場合には施工できません。

■ 部材の名称

部材名	形状	梱包入数
本体		2本
入隅カバー		4個
両面テープ		3巻

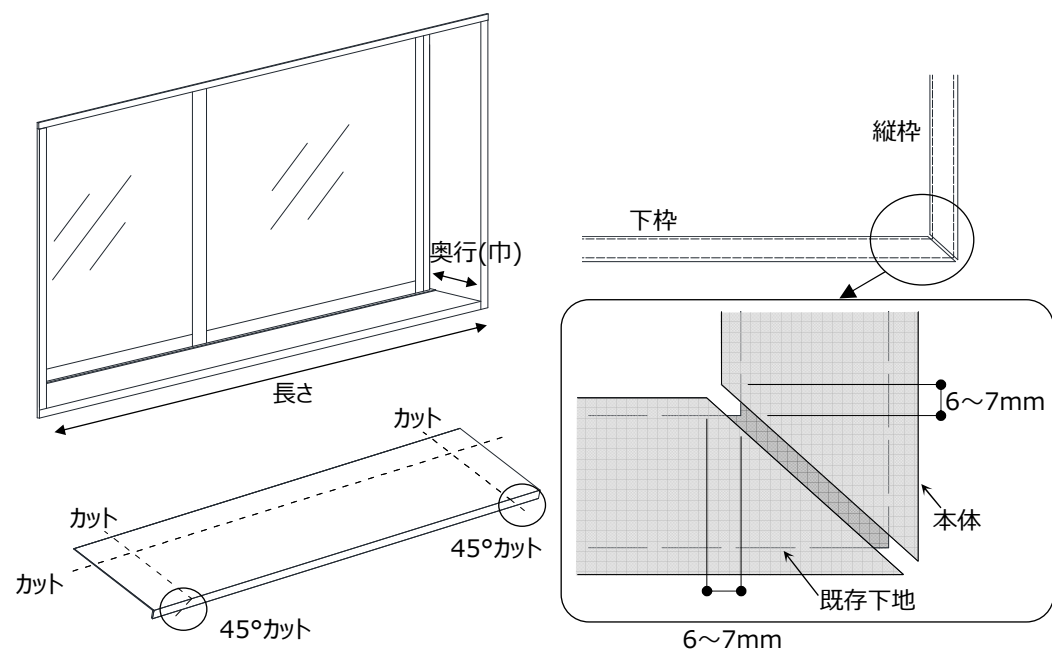
別売部材

フクビボンド (接着剤)		20本 (バラ出荷可)
シーリング材		10本 (バラ出荷可)

※シーリングを現地調達する場合は、シリコン系防カビ剤入りタイプをお使いください。

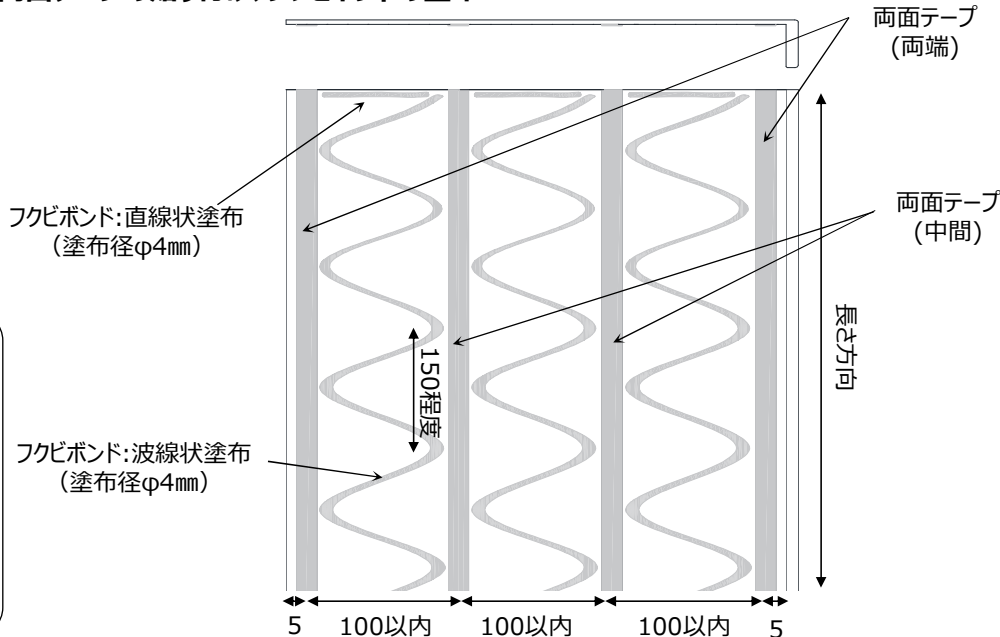
■ 施工の順序

① 本体の長さ・巾のカット



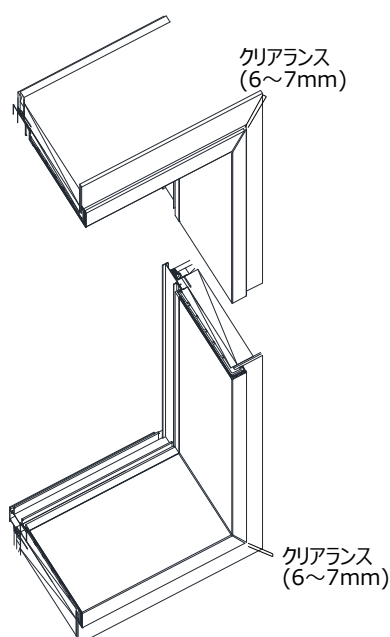
- 既存下地の長さに合わせてカットし、両端は45°でカットしてください。その際、既存下地から6~7mmのクリアランスが取れるようにカットしてください。
- また既存下地の奥行寸法に合わせて、巾を丸ノコでカットしてください。

② 両面テープの貼り付け、フクビボンドの塗布



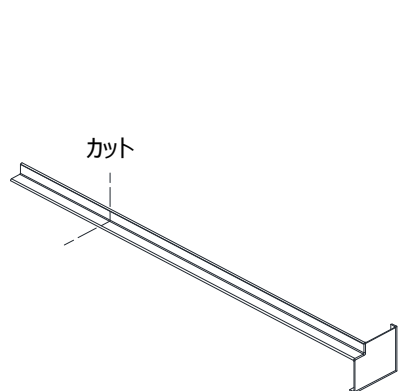
- 本体の長さ方向と平行に両面テープを貼り付けてください。
- 巾方向の両端の両面テープは端部から5mm空けて貼り付け、その間の両面テープは、100mm以内のピッチで貼り付けてください。
- 次に両面テープ間にフクビボンドを波線状に塗布してください。波線のピッチが150mm程度になるように塗布してください。(塗布径φ4mm)
- また長さ方向の両端にも直線状に塗布してください。(塗布径φ4mm)

③ 本体の取り付け



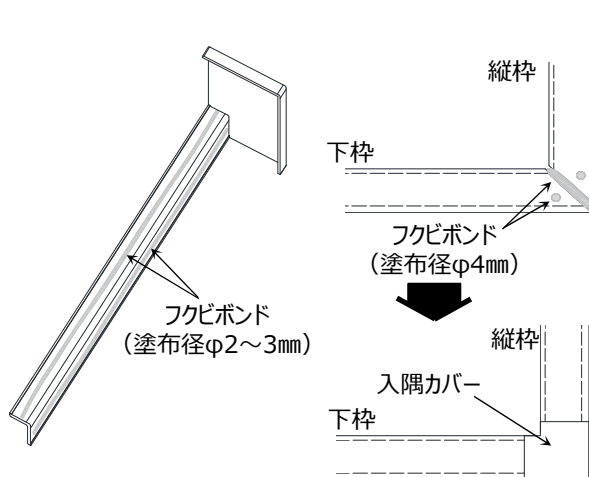
- 入隅部のクリアランス(6~7mm)を空けて本体を貼り付けてください。
- 貼り付ける際は、本体の全面を均一に押し付けて圧着してください。
- 圧着しても本体特有のたわみが残っている場合は、突っ張り棒などで押さえてください。

④ 入隅カバーの長さカット



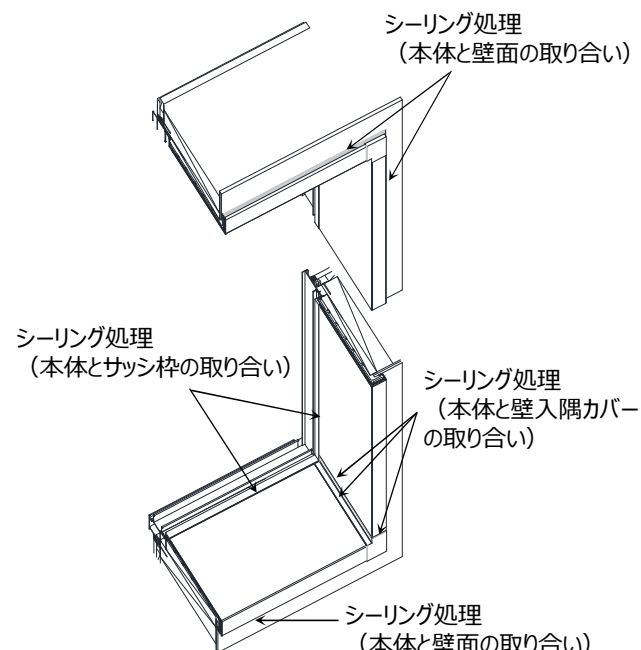
- 入隅カバーは本体の奥行寸法に合わせて手ノコでカットしてください。

⑤ 入隅カバーの取り付け



- 本体に接する入隅カバーの2面にフクビボンドを塗布してください。(塗布径φ2~3mm)
- また本体の前垂れ部にもフクビボンドを上図のように塗布してください。(塗布径φ4mm)
- 入隅部に、入隅カバーの全面を均一に押し付けて圧着してください。
- 接着剤が入隅カバーからはみ出した場合はすぐにふき取ってください。

⑥ シーリング処理



- 本体とサッシ枠、壁面及び入隅カバーとの取り合い部や、その他、水、水蒸気が浸入すると思われる部分には必ずシーリング処理を行ってください。
- ※フクビボンド塗布後30分以上経過してからシーリング処理を行ってください。